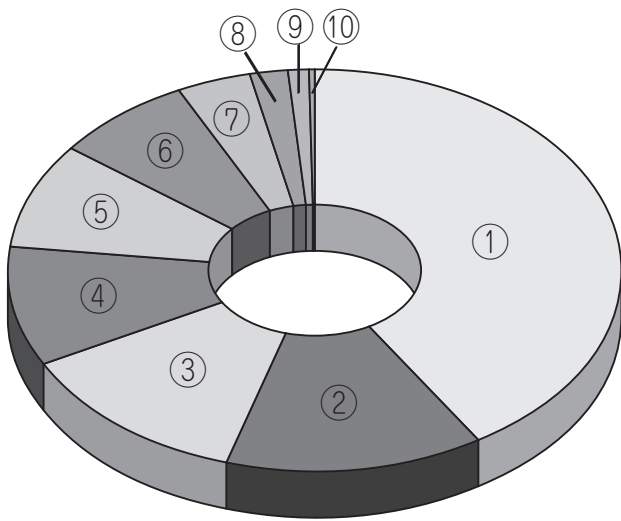


平成 15 年度の

一般会計歳出

127 億 4,862 万円



- ①教育費……………52 億 3,226 万円(41.0%)
- ②民生費……………17 億 3,926 万円(13.6%)
- ③土木費……………16 億 499 万円 (12.6%)
- ④公債費……………12 億 1,822 万円(9.6%)
- ⑤総務費……………10 億 8,845 万円(8.5%)
- ⑥衛生費…………… 9 億 3,529 万円(7.3%)
- ⑦消防費…………… 4 億 9,992 万円(3.9%)
- ⑧農林水産業費…………… 2 億 5,331 万円(2.0%)
- ⑨議会費…………… 1 億 4,315 万円(1.1%)
- ⑩商工費…………… 3,377 万円(0.3%)

※ () 内は構成比。端数処理の関係で 100% にならないことがあります。

●平成 15 年度会計別決算 (△はマイナス)

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	134 億 9,688 万円	127 億 4,862 万円	7 億 4,826 万円	
特別会計	国民健康保険	26 億 1,398 万円	25 億 5,732 万円	5,666 万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,484 万円	1,425 万円	59 万円
	公共下水道事業	20 億 9,515 万円	20 億 9,515 万円	0 円
	老人保健	27 億 4 万円	27 億 662 万円	△ 658 万円
	町村立学校指導主事共同設置	37 万円	14 万円	23 万円
	介護保険	13 億 2,701 万円	13 億 418 万円	2,283 万円
	居宅サービス事業	9,850 万円	8,368 万円	1,482 万円
	磯城郡介護認定審査会共同設置	1,336 万円	1,158 万円	178 万円
水道事業会計	収入額	支出額	差引額	
収益的収支	7 億 1,390 万円	7 億 3,536 万円	△ 2,146 万円	
資本的収支	4 億 3,624 万円	6 億 763 万円	△ 1 億 7,139 万円	

水道事業会計

独立採算で運営を行う公営企業に水道事業があります。この会計は、経営状況を示す「収益的収入・支出」と施設の建設投資を示す「資本的収入・支出」に区分されます。平成 15 年度の

決算額は表のとおりです。収益的収支は損益計算による当年度純損失が 4、755 万円生じたので、前年度繰越利益剰余金で補てんし、資本的収支は 1 億 7、139 万円の不足が生じたので、過年度分損益勘定留保資金や積立金などで補てんしました。

決算書を見たい場合は

町がどのような事業を行ったかは、決算書を見れば分かります。この決算書は町役場情報コーナーまたは図書館で閲覧することができます。

決算

公表

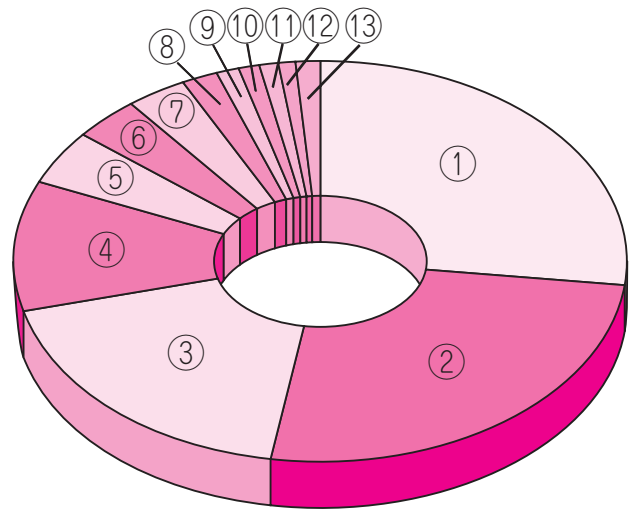
平成15年度の決算がまとまり、9月に開かれた町議会第3回定例会で認定されました。
皆さんに納めていただいた大切な税金が住みよいまちづくりにどのように使われたのか、その概要を紹介します。

【企画財政課財政係☎内線 214】

一般会計歳入

134億9,688万円

①町税	36億3,050万円	(26.9%)
②町債	34億6,800万円	(25.7%)
③地方交付税	24億8,763万円	(18.4%)
④繰入金	14億1,211万円	(10.5%)
⑤国庫支出金	5億8,851万円	(4.4%)
⑥県支出金	4億7,719万円	(3.5%)
⑦繰越金	4億2,861万円	(3.2%)
⑧地方消費税交付金	2億5,299万円	(1.9%)
⑨使用料・手数料	1億6,576万円	(1.2%)
⑩地方特例交付金	1億4,857万円	(1.1%)
⑪分担金・負担金	1億3,628万円	(1.0%)
⑫地方譲与税	1億2,185万円	(0.9%)
⑬その他	1億7,888万円	(1.3%)



一般会計

町の教育や福祉、土木など通常の行政経費を賄うのが一般会計です。

一般会計の決算額は、歳入(町に入ったお金)が134億9,688万円、歳出(町が使ったお金)が127億4,862万円となり、差し引きは7億4,826万円になりました。

なお、継続費(繰越、繰越明許費)として、翌年度に繰り越すべき財源が1億6,231万円ありますので、これを除いた実質の黒字は5億8,595万円になりました。

歳入町税が歳入の約27%

歳入のうち、町民税や固定資産税などが納めた「町税」が最も大きな割合を占め、一般会計歳入の約27%になりました。次に大きな割合を占めているのは、大きな事業を行うために国などから資金を借り入れる「町債」です。平成15年度は主に(仮称)総合生涯学習センター建設事業のために借り入れしました。

ほかには、所得税など国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付される地方交付税が約18%を占めています。

歳出教育費が歳出の約41%

平成15年度に行った主な事業では、(仮称)総合生涯学習センターの建設工事などに34億3,737万円を支出しました。

また北小学校校舎改築事業に4億6,459万円、平成15年度から2カ年計画で実施している小中学校施設の耐震診断に3,838万円、黒田大塚古墳の整備事業に1,595万円を支出しました。

ほかにも、各家庭に配布した自然災害に備えるための予備知識をまとめた防災ハンドブック作成費用として142万円、また乳幼児健康支援一時預かり事業に668万円を支出しました。

これらをはじめ、少子高齢化社会に対応した福祉サービスの充実、保健関連事業、都市環境や生活環境の整備、産業の発展、教育・文化・スポーツの振興など各種事業を行いました。

特別会計

特定の事業を行うための経費を賄うのが特別会計で、8つの特別会計の決算額は左の表のとおりです。なお、老人保健特別会計で658万円の不足が生じたため、平成16年度の歳入で補てんしました。